

宮崎県感染症週報

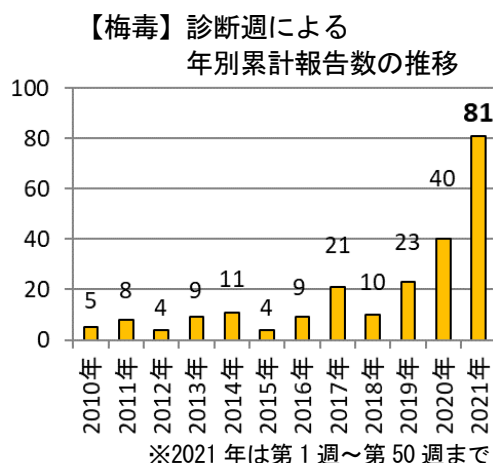
宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第50週の発生動向

トピックス

・**梅毒**(全数報告の感染症)の報告が宮崎市保健所からあった。2021年第50週時点での累計報告数が81例となり、1999年以降最も多くなった前年(40例)の2倍を超える報告数となっている。

性別は男性が47例、女性が34例で、年齢群別では、20歳代及び40歳代がそれぞれ全体の約3割を占めている。また、保健所別では宮崎市保健所管内からの報告が最も多く、59例となっている。



全数報告の感染症 (50週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核2例。3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症2例。
4類感染症：つつが虫病9例。5類感染症：アメーバ赤痢1例、梅毒2例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	80歳代	女	肺結核	咳、痰、発熱
		都城	80歳代	女	肺結核	発熱、呼吸困難
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	10歳代	男	—	腹痛、水様性下痢、血便、発熱、 O血清群不明(VT型不明)
			40歳代	女	—	なし、O血清群不明(VT1)
5類	アメーバ赤痢	都城	50歳代	男	腸管アメーバ症	大腸粘膜異常所見
	梅毒	宮崎市	20歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			30歳代	女	無症状病原体保有者	なし

	疾患名	報告保健所	報告数	年齢群					症状
				50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	
4類	つつが虫病	都城	2例	1	1				頭痛、発熱、刺し口、 リンパ節腫脹、発疹等
		日南	2例	1	1				
		小林	4例		1	1	1	1	
		高鍋	1例		1				

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は666人(定点当たり18.9)で、前週比100%と横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患は感染性胃腸炎と水痘で、減少した主な疾患は手足口病であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

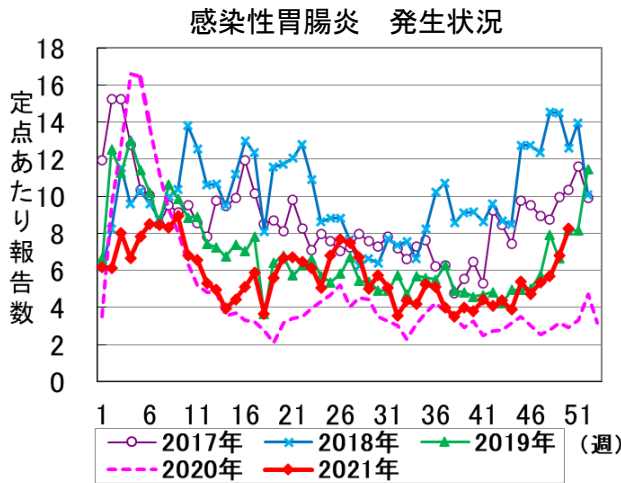
【感染性胃腸炎】

報告数は297人(8.3)で、前週比122%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(12.8)の約0.6倍であった。小林(22.3)、宮崎市(10.1)、日向(8.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から3歳が全体の約半数を占めた。

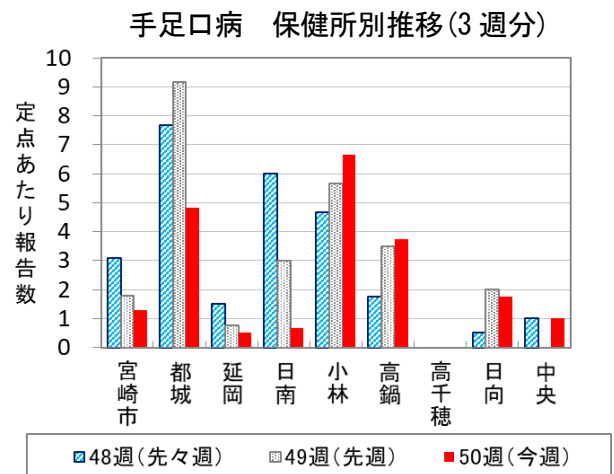
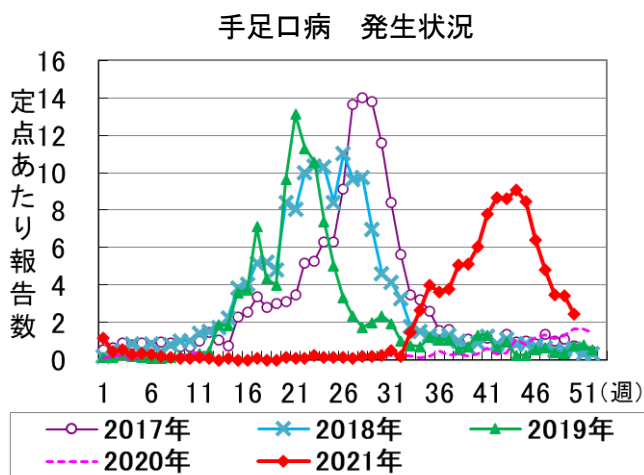
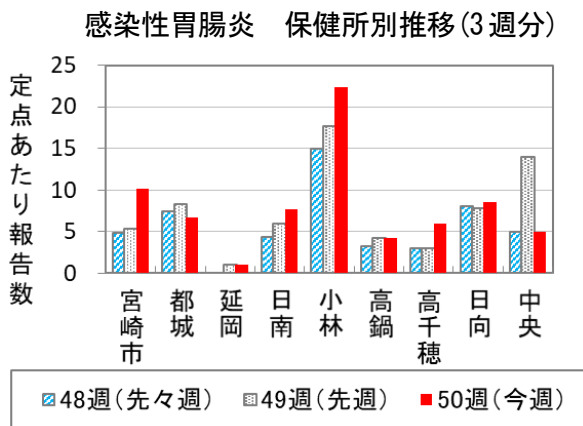
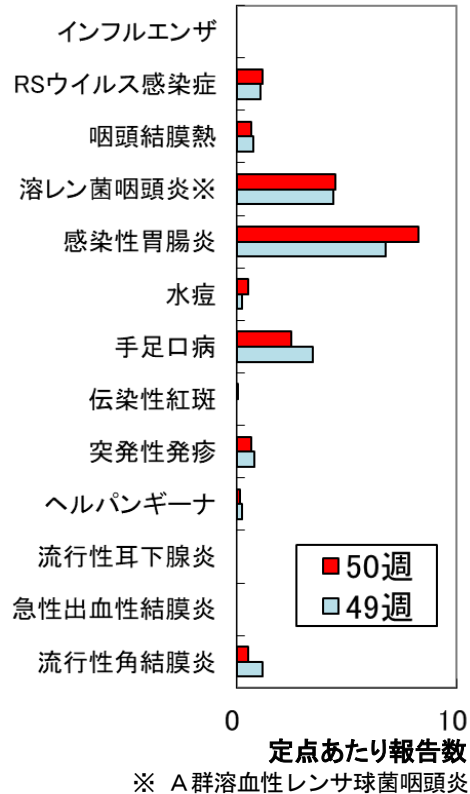
【手足口病】

報告数は89人(2.5)で、前週比72%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値*(1.1)の約2.2倍であった。小林(6.7)、都城(4.8)、高鍋(3.8)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から3歳が全体の約8割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均



《前週との比較》



★基幹定点からの報告★ なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	水痘(1.0)
都城	なし
延岡	なし
日南	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(46.0)
小林	感染性胃腸炎(22.3)、手足口病(6.7)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

* 流行警報レベル開始基準値 *
 ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
 ・感染性胃腸炎(20)
 ・手足口病(5)

* 流行注意報レベル基準値 *
 ・水痘(1)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和3年12月20日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
Salmonella Corvallis (O8:z4,z23:-)	20歳代	男	2021.11.8	発熱(39.2℃)、胃腸炎(水様性下痢、嘔気、嘔吐、腹痛)	便	2021.11.17
EHEC(O26:H11 VT1)	0~4歳	女	2021.12.5	胃腸炎(水様性下痢、血便、腹痛)	便	2021.12.17

0~4歳の乳幼児から腸管出血性大腸菌（EHEC O26:H11 VT1）が検出された。腸管出血性大腸菌は経口感染し、少ない菌量でも家族や保育園等の集団で感染が広がることのあるため、食材の加熱、調理器具の消毒、手洗い等を徹底する必要がある。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
エコーウイルス6型	0~4歳	男	2021.08.08 2021.08.10	髄膜炎、39.2℃	髄液 咽頭ぬぐい液 便	2021.12.16

🇯🇵 全国 2021 年第 49 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	232 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	55 例				
4類感染症	E型肝炎	7 例	つつが虫病	52 例	日本紅斑熱	1 例
	レジオネラ症	28 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	9 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	25 例	急性脳炎	3 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	13 例	後天性免疫不全症候群	8 例	侵襲性肺炎球菌感染症	20 例
	水痘（入院例）	3 例	梅毒	115 例	播種性クリプトコックス症	1 例
	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	26 例
	麻疹	1 例				

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比116%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は水痘とヘルパンギーナであった。

感染性胃腸炎の報告数は20,947人(6.7)で前週比127%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(8.8)の約0.8倍であった。長崎県(13.5)、埼玉県(11.2)、兵庫県、大阪府(10.2)からの報告が多く、年齢群別では1歳から4歳が全体の約6割を占めた。

手足口病の報告数は3,583人(1.1)で前週比93%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.62)の約1.8倍であった。鹿児島県(6.3)、香川県(5.7)、島根県(4.2)からの報告が多く、年齢群別では1歳から2歳が全体の約7割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2021年 第50週(12月13日～12月19日)

疾病名		第49週	第50週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	38	43	12	21		2				1	7
	定点当り	1.06	1.19	1.20	3.50	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00	0.25	7.00
咽頭結膜熱	報告数	27	24	9	10	3			1			1
	定点当り	0.75	0.67	0.90	1.67	0.75	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	158	161	8	5	2	138		1			7
	定点当り	4.39	4.47	0.80	0.83	0.50	46.00	0.00	0.25	0.00	0.00	7.00
感染性胃腸炎	報告数	244	297	101	40	4	23	67	17	6	34	5
	定点当り	6.78	8.25	10.10	6.67	1.00	7.67	22.33	4.25	6.00	8.50	5.00
水痘	報告数	8	19	10	4	3	1		1			
	定点当り	0.22	0.53	1.00	0.67	0.75	0.33	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	124	89	13	29	2	2	20	15		7	1
	定点当り	3.44	2.47	1.30	4.83	0.50	0.67	6.67	3.75	0.00	1.75	1.00
伝染性紅斑	報告数		1	1								
	定点当り	0.00	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	29	23	4	5	7	1	2	3		1	
	定点当り	0.81	0.64	0.40	0.83	1.75	0.33	0.67	0.75	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	8	6		6							
	定点当り	0.22	0.17	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	7	3	3								
	定点当り	1.17	0.50	1.00	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2021年第1週～50週)

2類感染症	結核	125例(2)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	29例(2)		
4類感染症	E型肝炎	5例	重症熱性血小板減少症候群	13例
	日本紅斑熱	19例	レジオネラ症	11例
5類感染症	アメーバ赤痢	3例(1)	ウイルス性肝炎	3例
	クリプトスポリジウム症	2例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例
	後天性免疫不全症候群	5例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4例
	水痘(入院例)	4例	梅毒	81例(2)
	破傷風	7例	百日咳	2例
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	5264例		

()内は今週届出分、再掲